



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ETSグループ 上場取引所 東
コード番号 253A URL <https://ets-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上江洲 剛
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 早川 潔 TEL 03(5957)7661
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	2,757	16.3	301	52.4	297	53.4	169	46.5
2025年9月期第1四半期	2,371	—	197	—	193	—	115	—

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 170百万円 (44.7%) 2025年9月期第1四半期 118百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	26.63	—
2025年9月期第1四半期	18.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	9,445	3,507	37.1
2025年9月期	9,269	3,444	37.2

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 3,507百万円 2025年9月期 3,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2026年9月期	—				
2026年9月期（予想）		0.00	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,846	15.3	371	△3.1	355	△4.4	236	3.8	37.19
通期	11,850	5.2	777	8.3	747	8.2	496	6.4	77.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期 1 Q	6,368,903株	2025年9月期	6,368,903株
② 期末自己株式数	2026年9月期 1 Q	1株	2025年9月期	1株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期 1 Q	6,368,902株	2025年9月期 1 Q	6,368,903株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、「この街に明かりを灯すのは私達 ～100年の伝統から100年の未来へ～」を存在意義・誇り（パーパス）として、主に大手電力会社様ならびに大手事業主様から受注した架空送電線の建設工事、特別高圧変電所の建設工事及び電気設備工事の設計施工に従事することを通じて、我が国の電力エネルギーインフラを支えています。また、当社グループはマンションやオフィスビルの管理業務、及びマンション組合の管理業務受託等の不動産関連事業にも従事しております。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、物価上昇の継続による個人消費を下押しするリスクが高まっているとともに、各国の政治情勢の変動に伴う世界経済の先行き不透明感も増しております。当社グループが所属する建設業界では、資材価格や労務費の高騰等の厳しさがある反面、旺盛な企業の設備投資意欲が継続し、堅調な需要で支えられて推移しております。

このような状況の中、当連結会計年度は、当社グループが掲げる中期経営計画の最終年度として、連結売上高118億5千万円、連結営業利益7億7千7百万円の業績を予想しており、当第1四半期連結累計期間の経営成績及び報告セグメント別の状況は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減率(%)
連結受注高	1,446	763	89.3
連結売上高	2,757	2,371	16.3
連結売上総利益	560	441	27.0
連結営業利益	301	197	52.4
連結経常利益	297	193	53.4
税金等調整前四半期純利益	297	193	53.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	169	115	46.5

(単位：百万円)

	電気工事業			不動産関連事業		
	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	2,393	1,976	21.1	359	390	△7.9
セグメント利益	288	149	92.5	16	32	△51.2

当第1四半期連結累計期間における連結受注高は、電力事業及び設備事業において順調に積み上がるとともに、前期末の繰越工事高を着実に消化させたことにより、売上高・利益ともに好調な結果となりました。電気工事業では、電力事業における東北地方、関東地方及び中国地方での送電線工事の順調な進捗と、設備事業における特別高圧変電所設置工事の進捗により、前年を上回る売上高・利益を上げることができました。一方、不動産関連事業では修繕工事の減収等により、売上高・利益ともに前年を下回る結果となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億7千6百万円増加し、94億4千5百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、前払金2億4千6百万円の減少及び未収消費税等3億3千5百万円の減少がありましたが、受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産3億9千3百万円の増加及び現金預金3億4千7百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億1千3百万円増加し、59億3千8百万円となりました。

負債の増加の主な要因は、工事未払金等2億1千万円の減少及び契約負債3億2千4百万円の減少がありましたが、短期借入金6億5千万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6千2百万円増加し、35億7百万円となりました。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金1億5百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の通期の連結業績予想については、今後の完工、受注予測を踏まえました結果、「2025年9月期決算短信（2025年11月14日付）」で公表した連結業績予想に変更はありません。今後、通期連結業績予想に修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則等に基づき、速やかにご報告させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,673,115	2,020,755
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	3,983,144	4,376,446
未成工事支出金等	143,348	163,332
前払金	737,391	490,801
未収消費税等	337,144	1,267
その他	43,030	38,794
貸倒引当金	△23,085	△21,823
流動資産合計	6,894,089	7,069,573
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	789,753	791,922
機械・運搬具	1,315,479	1,359,219
工具器具・備品	384,814	389,111
土地	1,066,627	1,066,627
リース資産	485,384	486,344
建設仮勘定	9,960	16,372
減価償却累計額	△2,094,522	△2,139,275
有形固定資産合計	1,957,495	1,970,321
無形固定資産	3,721	3,551
投資その他の資産		
投資有価証券	22,399	24,695
長期性預金	200,000	200,000
退職給付に係る資産	7,073	7,943
繰延税金資産	39,992	39,785
その他	177,773	168,367
貸倒引当金	△47,649	△52,127
投資その他の資産合計	399,589	388,663
固定資産合計	2,360,806	2,362,536
繰延資産		
社債発行費	10,172	9,418
創立費	4,261	3,995
繰延資産合計	14,434	13,413
資産合計	9,269,330	9,445,523

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	1,075,930	865,899
短期借入金	1,600,000	2,250,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	248,832	249,402
短期リース債務	72,787	73,103
未払法人税等	134,157	132,868
未払消費税等	21,521	76,298
契約負債	915,777	590,961
賞与引当金	50,419	24,068
工事損失引当金	13,989	16,284
完成工事補償引当金	850	1,200
その他	139,382	173,319
流動負債合計	4,293,648	4,473,407
固定負債		
社債	830,000	830,000
長期借入金	277,954	223,149
長期リース債務	285,391	271,957
資産除去債務	33,778	33,833
繰延税金負債	2,011	2,847
再評価に係る繰延税金負債	6,324	6,324
退職給付に係る負債	94,429	96,145
その他	1,061	460
固定負債合計	1,530,950	1,464,716
負債合計	5,824,598	5,938,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,701,328	1,656,745
利益剰余金	1,860,319	1,966,219
自己株式	△0	△0
株主資本合計	3,611,647	3,672,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,409	10,759
土地再評価差額金	△176,325	△176,325
その他の包括利益累計額合計	△166,915	△165,565
純資産合計	3,444,731	3,507,399
負債純資産合計	9,269,330	9,445,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高		
完成工事高	1,976,539	2,393,538
不動産関連売上高	389,835	357,911
売電事業収入	5,201	6,183
売上高合計	2,371,576	2,757,633
売上原価		
完成工事原価	1,604,672	1,891,622
不動産関連売上原価	314,988	296,348
売電事業原価	10,480	9,121
売上原価合計	1,930,142	2,197,091
売上総利益		
完成工事総利益	371,866	501,916
不動産関連総利益	74,847	61,563
売電事業総損失(△)	△5,279	△2,937
売上総利益合計	441,434	560,542
販売費及び一般管理費	243,570	259,063
営業利益	197,864	301,479
営業外収益		
受取利息	37	8
受取配当金	276	334
助成金収入	348	558
保険解約返戻金	547	4,187
受取地代	1,546	1,260
その他	1,383	2,973
営業外収益合計	4,139	9,321
営業外費用		
支払利息	6,467	10,777
社債発行費償却	541	887
創立費償却	266	266
その他	1,015	1,685
営業外費用合計	8,291	13,617
経常利益	193,711	297,182
特別利益		
固定資産売却益	138	—
特別利益合計	138	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	193,850	297,182
法人税等	78,117	127,593
四半期純利益	115,733	169,589
親会社株主に帰属する四半期純利益	115,733	169,589

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	115,733	169,589
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,422	1,349
その他の包括利益合計	2,422	1,349
四半期包括利益	118,155	170,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,155	170,938

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電気工事業	不動産関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,976,539	389,835	2,366,375	5,201	2,371,576	—	2,371,576
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	883	883	—	883	△883	—
計	1,976,539	390,719	2,367,258	5,201	2,372,460	△883	2,371,576
セグメント利益 又は損失(△)	149,848	32,914	182,762	△5,279	177,482	20,381	197,864

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業であります。

2 「調整額」の内容は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間取引消去△883千円であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去6,232千円、各報告セグメントに配分していない持株会社である当社の営業利益14,149千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電気工事業	不動産関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,393,538	357,911	2,751,450	6,183	2,757,633	—	2,757,633
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,808	1,808	—	1,808	△1,808	—
計	2,393,538	359,719	2,753,258	6,183	2,759,441	△1,808	2,757,633
セグメント利益 又は損失(△)	288,472	16,049	304,521	△2,937	301,584	△104	301,479

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業であります。

2 「調整額」の内容は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間取引消去△1,808千円であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△280,730千円、各報告セグメントに配分していない持株会社である当社の営業利益280,625千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	48,874 千円	46,338 千円
のれん償却額	1,752 千円	－ 千円

(重要な後発事象)

(固定資産の取得)

当社は、2026年2月13日開催の取締役会において、以下のとおり固定資産の建設による取得を決議いたしました。

- (1) 取得の内容 : ホテル用宿泊施設（京都府京都市東山区）
- (2) 取得価額 : 1,200百万円（予定）
- (3) 建設工事の着工日 : 2026年4月（予定）
- (4) 建設工事の竣工日 : 2027年8月（予定）
- (5) 資金調達方法及び内容 : 金融機関借入金（期間32年、金利は基準金利＋スプレッド）
- (6) 取得の目的 : 不動産関連事業の業容拡大のため

本件による当連結事業年度（2026年9月期）の業績に与える影響は軽微であります。